

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

へー 一般▽報道写真全記録東
日本大震災(朝日新聞社)▽東
北 不屈の歴史をひもとく(岡
本公▽ファースト・ジャパニー
ズ・ジョン・万次郎(中濱武彦)
▽昭和天皇第4部(福田和也)
▽父・金正日と私 金正男独占
告白(五味洋治)▽資本主義以
後の世界(中谷巖)▽TUNA
MI 3・11(豊田直巳)▽ホッ

■みずうみ読書の家

へー 一般▽トラライアウト(藤岡
陽子)▽剣豪將軍義輝へ上・中・

ト・スポット(NHKE TV特
集取材班)▽謎解きはディナー

のあとで(東川篤哉)▽謎解き
はディナーのあとで2(東川篤
哉)▽異境(堂場瞬一)▽半次
捕物控え 一石二鳥の敵討ち
(佐藤雅美)▽ジョン・マン「太
平洋編」(山本一力)▽帝王死す
べし(折原一)▽真友(鏑木蓮)
▽越境捜査3「破断」(笹本稜
平)

今月の1冊



「けんぼうは一年生」

岸武雄(著)
二俣英五郎(イラスト)

けんぼうが生きていたら

もう一年生のはず……。当たり前の
ように、一年生になり、普通に学校へ
通う。しかし今回の震災もそうですし、
病気やけんぼうのように突然交通事故
で逝ってしま
うことがあります。

命のはかなさ、
大切さを親子で
考えながら読ん
でほしい作品で
す。



下▽(宮本昌孝)▽花酔ひ(村山
由佳)▽歪笑小説(東野圭吾)▽
ジャン・マン(山本一力)▽星月
夜(伊集院静)▽東雲ノ空(佐伯
泰英)▽下山の思想(五木寛之)
▽共食い(田中慎弥)▽蝸ノ記
(葉室麟)▽所轄魂(笹本稜平)▽
これからの日本人へ(松下幸之
助)

へロータリー文庫▽日本の津
波災害(伊藤和明)▽震災と情報
(徳田雄洋)▽津波の町に生きる
(北原耕也)▽津波と防災(山下
文男)▽日本の恐竜図巻(宇都宮
聰)▽山はどうしてできるのか
(藤岡換太郎)▽3・11が教えて
くれた防災の本1(片田敏孝)

●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

●4月休館日

12日・19日・26日・29日・30日
・5月3日・5日・10日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎ 76・2100
みずうみ読書の家 ☎ 75・4702

わたしのうた

短歌

【あぶた短歌会】

三月定例会



黒猫は車を向を走り行く

その素早やさを羨みて見ぬ

震災より涙をみだに過ぎて来ぬ

己が無援を詫びてまた泣く

そこはかと春のいぶきの匂いきて

はのぼのなりし老の脈なり

なによりのおくりものとも軒の端の

氷柱より春の樂は流るる

会議終へあとは我が家を目指すだけ

スーパ―北斗の轟音たのもし

我が庭の木々の根回きしておちこちに

羽毛のごとき雪は舞ひ舞ふ

俳句

【あぶた俳句会】

三月定例会

ものの芽や口遅き子の喋りだす

水温む妻の口紅やや濃くて

雛菓子並べスーパ―華やぎぬ

時かけてはくすこだわり木の芽風

如月や舌にのらざる句を温む

幼子のよちよちあんよ芽立ち時

北島加代

赤塚瑛子

大西芳子

山本孝

太田智

元田フジ子

井村育子

那須伶子

三瓶修

菅原敏子

矢野知子

小笠原勇